

教科	理科	科目	化学基礎
履修条件 対象生徒	選択履修 デザイン科 3学年		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化への関心を高める。 目的意識を持って実験を行い、化学的に探究する能力と態度を身に付ける。 化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。 		
学習方法	<p>[授業] 理科室において、教科書の学習内容に沿ってプリントによる学習を行い、知識・理解の定着を図る。実験を行う際には、自作の実験プリントにしたがって、安全に行う。デザイン科の実習で使用している作業着を着用する。</p> <p>[家庭学習] 長期休業中は、問題演習プリント、レポートなどを課題とする。</p> <p>[補習・その他] 定期考査当日にノートを提出すること。考査返却後は訂正ノートを作成すること。訂正ノートには問題の訂正に加えて反省や感想、次回のテストに向けての意気込みなどを記すこと。成績不振者には特別に課題を与える。</p>		
学習計画 と ねらい	<p>< 1 学期末考査まで ></p> <p>第1部 化学と人間生活</p> <p>第1章 化学と私たちの生活</p> <p>A 生活の中の化学</p> <p>第2章 物質の状態</p> <p>A 混合物と純物質</p> <p>B 元素・単体・化合物</p> <p>C 粒子の熱運動と物質の状態</p> <p>第2部 物質の構成</p> <p>第1章 物質の構成粒子</p> <p>A 原子の構造</p> <p>B 原子の電子配置</p> <p>C イオンの生成</p> <p>D 元素の周期表</p> <p>< 2 学期末考査まで ></p> <p>第2章 化学結合</p> <p>A イオン結合</p> <p>B 共有結合</p> <p>C 金属結合</p> <p>第3部 物質の変化</p> <p>第1章 物質質量と化学反応式</p> <p>A 原子量・分子量・式量</p> <p>B 物質質量</p> <p>C 溶液の濃度</p> <p>D 化学反応式</p> <p>E 化学変化の量的関係</p> <p>第2章 酸と塩基</p> <p>A 酸と塩基</p> <p>B 水素イオン濃度とpH</p> <p>C 酸・塩基の中和</p> <p>D 塩の性質</p> <p>< 3 年学年末まで ></p> <p>第3章 酸化還元反応</p> <p>A 酸化と還元</p> <p>B 酸化剤と還元剤</p> <p>C 金属のイオン化傾向</p> <p>D 酸化還元反応と人間生活</p>		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 評価の観点：「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「観察・実験の技能」「知識・理解」の4つの観点から総合的な評価を行う。 授業では、発表や話し合いなどの言語活動、レポート、問題演習への取組など生徒の主体的な活動を重視する。 実験では、実験技能、データの整理と分析、発表などを重視する。 考査では、4つの観点をバランスよく評価する。 以上を総合的に判断して評価する。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもつこと。 疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。 学んだことを正確に記録する方法と態度を身に付けること。 		